

『2026年第29回全国大会(大阪) 特定課題研究発表(講評つき)募集要項』

1. 趣旨

全国大会における研究発表時の議論活性化を図ると同時に、論文の質的向上を目指して 2018 年の全国大会より「特定課題研究発表論文」制度を開始した。本制度では、毎年特定課題を数題設定し、特定の課題に対する多方面からの集中的かつ活発な議論がなされるセッション運営を展開する。それと同時に投稿された論文には、「講評」を実施し、発表論文の質の向上も図っていく。過去の投稿者の方々からは、発表前の「講評」や発表当日の「質疑応答」により、会場の皆さんを含めて議論や研究そのものを深化させることができたことと好評を得ている。

2. 2025年の特定課題

特定課題研究発表論文(講評つき):以下の4つの課題から選択

- 課題1: 「まちづくりと当事者参加」
- 課題2: 「まちづくりと建築」
- 課題3: 「まちづくりと交通」
- 課題4: 「まちづくりと支援技術」

3. 「講評」について

投稿された論文に対し、事前に講評者 1 名(公開)が投稿者に対して「講評」を行う。「講評」の内容は、論文委員会において導入している査読項目をベースに行い、研究内容に加えて、投稿論文としての体裁などについても言及する。「講評」はあくまでも論文の質の向上を目的とし、査読付き論文へつなげるためのアドバイスを行うものであり、投稿論文は「査読付き論文」としては位置付けられない。改めて論文集へ投稿される際の参考とすること。

「講評」の結果は、大会発表前に投稿者およびセッションのファシリテーターに返信する。また、情報保障の観点から原稿は修正せず、発表当日は投稿時の原稿が会員に公開された状況となる。「講評」の内容は、発表冒頭に簡潔に説明すること。また、主たる発表内容は、「講評」に対する回答や修正を含めることも可能。講評者、並びにファシリテーターを含め、会場での議論の活性化と深化につなぐことを期待する。

4. セッションの運営方法について

- ・各特定課題にもとづくセッションは、講評者、ファシリテーター(セッションの進行および会場での議論喚起)、発表者によって運営される。
- ・大会時のセッションは、当初提示した特定課題1~4への応募論文の内容を勘案し、必要な場合には再編成を行う。
- ・1セッションの発表の上限は、3件程度。上限 1 時間半程度のセッション運営とする。
- ・発表者のプレゼンテーション(講評の紹介を含む)は 10 分程度、その後の質疑応答は 10 分とし、別途セッション終了時に全体を総括した質疑時間を 15~20 分程度設ける。また、上記の通り、

発表者は自身の研究発表の後、講評者からの「講評」に対して見解を述べることができる。

5. 原稿の書式および発表時間

- ・概要原稿の書式:「日本福祉のまちづくり学会全国大会 概要集 原稿執筆要領2026年 第29回大阪大会用」を用い、全体で 6 ページに収まるようにすること。
- ・発表時間:10 分程度
- ・質疑応答:10 分

6. スケジュール

- ・登録期間 2026年3月 9 日(月) ~ 2026年4月13日(月)
- ・概要集原稿投稿期間 2026年3月 9 日(月)~ 2026年5月12 日(火)
- ・概要集原稿 提出時 6 ページ
- ・講評結果の返信:個別にご連絡します。

【発表登録、原稿投稿に関する問い合わせ先】

日本福祉のまちづくり学会大会ヘルプデスク

E-mail: jais-desk@conf.bunken.co.jp

【その他、大会に関する問い合わせ先】

第29回全国大会(大阪)実行委員会事務局

E-mail: taikai2026office@fukumachi.net